



毛主席の革命路線の 偉大な勝利

北京市革命委員会の誕生に熱烈な歡呼をおくる

北 京 外 文 出 版 社

偉大な指導者毛主席万歳！

プロレタリア文化大革命万歳！

毛主席の革命路線の
偉大な勝利

北京市革命委員会の誕生
に熱烈な歓呼をおくる

外文出版社
北京

目次

毛主席へのあいさつの手紙……………	北京市革命委員会成立祝賀大会（一九六七年四月二十日）…	1
周恩来総理のあいさつ……………	（一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で）…	12
江青同志のあいさつ……………	（一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で）…	21
謝富治同志の演説……………	（一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で）…	29
張春橋同志が五つの省、市革命委員会代表団を代表して おこなったあいさつ……………	（一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で）…	49
北京市革命委員会の成立に熱烈な歓呼をおくる……………	『人民日報』社説（一九六七年四月二十一日）…	53
毛沢東思想のさんらんたる光で偉大な首都を永遠に輝かせよう ——北京市革命委員会の誕生を熱烈に歓呼する……………	『解放軍報』（一九六七年四月二十一日）…	60

毛主席へのあいさつの手紙

もっとも、もっとも敬愛する偉大な指導者毛主席

資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派にたいする大闘争、大批判のなかで、わたしたち首都のプロレタリア革命派はこのうえない感動をこめて、わたしたちの心のなかのもっとも赤い、もっとも赤い、真紅の太陽——あなたに、人の心をふるい立たせる吉報をお知らせします。北京市革命委員会が成立しました！これは、あなたの輝かしい思想があげた、空高くひびきわたる新たな凱歌です。これはあなたに代表されるプロレタリア革命路線の新しい偉大な勝利です。

プロレタリア革命派のこのもっとも盛大な祝日にあたり、わたしたちは歓呼し、わたしたちはうたっています。いく千いく万という赤い心が、「毛主席万歳！ 万歳！ 万々歳！」という一つの叫びごえを発しているのです。

毛主席！毛主席！わが国の革命の輝かしい歴史をふりかえってみるとき、わたしたちは千万言をついやしても、あなたにたいするわたしたちの無限の忠誠をあらわしつくすことはできません、千万曲の歌をうたつてもあなたにたいするわたしたちの心からの称賛をあらわすことはできません。また、果てしない大海も、わたしたちのあなたにたいする無限の尊敬と無限の熱愛をおさめつくすことはできません。

マルクス・レーニン主義と労働運動を結びつけて、偉大な中国共産党を創立し、マルクス・レーニン主義を創造的に発展させたのは、あなたです。

井岡山のうえに小さな火花を燃えあがらせ、中国革命の勝利への航路をきりひらいたのも、あなたです。

中国労働赤軍を指揮して、万水千山を踏みこえ、名を全世界にとどろかせた二万五千華里の長征をなしとげさせたのも、あなたです。

永遠に歴史に名をとどめる遵義会議で、党内における「左」右日和見主義路線の支配に終止符をうち、中国革命の勝利の基礎をうちかためたのも、あなたです。

革命の聖地延安で、抗日戦争の前進の方向をさし示したのも、あなたです。

意気さかな堂々たる人民の軍隊を統率して北京に入城し、この古都に青春をもたらしたのも、あなたです。

天安门広場にはじめて五星紅旗をひるがえらせ、偉大な人民共和国を成立させたのも、あなたです。

あのながながとつづいた戦闘の年月に、あの波らんをきわめた革命の征途で、あなたはわたしたちを率いて、つぎつぎと困難や危険にうち勝ち、つぎつぎと逆まく怒とうをのりこえて、苦難のふちにしずんでいた祖国を暗黒から光明へとみちびき、世界の東方に巨人のように出現させて、世界人民に勝利の希望をもたらし、まるで真紅の太陽が力強くさしのぼったように、全世界のプロレタリアートと被抑圧民族に解放への道を照らし出させました。

毛主席！毛主席！社会主義の祖国が永遠に変色しないことを保証するために、あなたは、史上に例を見ないプロレタリア文化大革命をみずからおこし、指導し、わたしたちを率いて新しい長征の途にのびりました。

旧党北京市委員会、旧北京市人民委員会の内幕をあばき出し、そこにひそんでいた資本主義を復活させようとする、ひとにぎりの野心家のむなし夢をうちくだいたのは、あなたです。

全国ではじめてのマルクス・レーニン主義の大字報の放送をみずから決定し、プロレタリア文化大革命の烈火を燃えあがらせたのも、あなたです。

『中国共産党中央委員会のプロレタリア文化大革命についての決定』をみずから中心となって制定し、ブルジョア反動路線の破産を宣告し、プロレタリア文化大革命の航路をただしたのも、あなたです。

世界を震かんとさせた紅衛兵運動を英明にも発見し、熱情をかたむけてそれを支持したのも、あなたです。あなたのプロレタリア革命路線にみちびかれて、紅衛兵の小勇将たちは、プロレタリア文化大革命にたいして不朽の功績をうち立てました。

北京で、祖国の津々浦々から集まってきた一千余万人にのぼる文化大革命の大軍を観閲し、国際共産主義運動の歴史にはじめての偉大な壮挙をなしたのも、あなたです。

北京で、プロレタリア革命派は大連合をして、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派から権力を奪取せよという進軍命令を発し、プロレタリア文化大革命をまったく新しい段階におしすすめたのも、あなたです。

プロレタリア革命派が資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派に総攻撃をかけるのを断固と

して支持し、プロレタリア文化大革命の新しい偉大な戦役の進軍ラッパを吹きならしたのも、あなたです。

つきつきとあらわれる感動的な場面、つきつきとあらわれる驚天動地の雄壮な画面は、完全な勝利をめざすプロレタリア文化大革命の輝かしい未来図をえがきだし、あなたの輝かしい思想への賛歌をうたい、国際共産主義運動の歴史におけるもっとも雄壮な一ページを書きあげ、人類史の新紀元をきりひらいています。

敬愛する毛主席、あなたは、「まったく新しい社会制度をふるい制度の土台のうえにうちたてようとするば、かならずこの土台をとりのぞかなければならない」とわたしたちに教えています。旧北京市委員会、旧北京市人民委員会のひとにぎりの反革命修正主義分子は、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派から支持と庇護をうけて、北京市を「針一本とおらず、水滴しみこまない」独立王国にしたあげ、北京をわが国で資本主義の復活を實行する基地にしようとなくらみしました。ここ数十年のあいだ、かれらは反党・反社会主義・反毛沢東思想の犯罪活動を気遣いのおしすすめてきました。かれらの凶悪きわまる犯罪行為を目にして、わたしたちはどうして怒りにかられないでいられますようか。どうして造反しないでいられます

しようか。どうして権力を奪取しないでいられますようか。わたしたちは、死を賭してあなたをまもり、死を賭して党中央をまもる決意をかため、階級敵にたいする深い憎しみをこめて、旧党北京市委員会、旧北京市人民委員会の反革命修正主義集団に猛烈な攻撃をかけました。わたしたちが第一発目の砲弾を放ったばかりのとき、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派は、すかさずブルジョア反動路線をうち出し、わたしたちの偉大な首都において、偉大なプロレタリア文化大革命をおしつぶそうとたくらんだのです。あなたの輝かしい思想をまもりぬくために、あなたのプロレタリア革命路線をまもりぬくために、わたしたちはブルジョア反動路線にたいして造反し、この反動路線をうち出した中国のフルシチョフをあばき出しました。あなたのプロレタリア革命路線にみちびかれて、わたしたちは数々の阻止力を突破し、幾重もの障害物を一掃し、決然としてつぎのような決意をかためました。断固として旧党北京市委員会、旧北京市人民委員会の反革命修正主義路線を徹底的に打倒する！断固として、資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派を徹底的に批判し、かれを歴史のごみためのなかに投げすてる！また、わたしたちは、つぎのような決意もしています。資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派にたいする批判を、旧党北京市委員会、旧北京市人民委員会の反革命修正主義集団を徹底的

に粉碎する闘争と結びつけ、それぞれの単位での闘争、批判、改革と結びつけて、各分野にのばされている資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派の黒い手を断ちきる！

敬愛する毛主席、あなたは、「滅亡しようとする反動勢力は、つねに革命勢力にたいして最後のあがきをするものである」とわたしたちに教えています。資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派はいまだにあきらめてはおらず、かれらの罪状にたいするもとの判定をくつがえそうとたくらんでいます。かれらはまた、自分の失敗に甘んぜず、反攻・報復にでて、資本主義復活の逆流をまきおこしました。かれらの黒幕の親分は、ほかでもなく、資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派です。わたしたちはあなたの「余勢をかって、逃げ場を失った敵を追いつめるべきであって、虚名を得ようとして霸王項羽のまねをしてはならない」という教えを胸にしつかりときぎみつけておきます。そして、あなたの輝かしい思想の偉大な赤旗を高くかかげて、資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派に総攻撃をかけ、かれに代表されるブルジョア反動路線と、かれが腐心してまとめあげた大毒草「修養」を批判して、それをうち倒し、たたきつぶし、鼻もちならぬものにし、また資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派を批判して、それをうち倒し、たたきつぶし、鼻もちならぬものにして、資本主義復活の逆流

を徹底的に粉碎し、あなたがわたしたちにあたえた闘争、批判、改革という偉大な歴史的使命を断固として完遂し、プロレタリア文化大革命を断固として最後までやりぬきます。

敬愛する毛主席、「革命に力をいれ、生産をうながす」——これはあなたがうち出した偉大な方針であり、わたしたちはかならずそれを忠実に実行します。わたしたちは、かならず革命を第一位におき、革命で生産を統率し、思いきり革命に力をいれ、猛烈な意気込みで生産をうながし、多く、はやく、りっぱに、むだなく社会主義を建設する新たな高まりをもちあげ、革命と生産の両方の勝利をたたかいてることを誓います。

敬愛する毛主席、わたしたちはあなたが提起した革命的「三結合」の方針をあくまで実行し、まもりぬきます。わたしたちは、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派を徹底的に批判するたたかいのなかで、また、幹部問題でかれがうち出した「大勢のものに打撃をあたえ、ひとにぎりのものを保護する」という、ブルジョア反動路線を徹底的に批判する過程で、プロレタリア革命派の大連合を促進し、革命的「三結合」を実現させます。「革命」を装って、革命的「三結合」の臨時権力機構にもぐりこみ、反革命の復活をたくらむ資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派の陰謀を、わたしたちは断固として粉碎します。わたしたちはかならず

りっぱに権力を奪取し、りっぱに権力を掌握し、りっぱに権力を運用します。

プロレタリアートとブルジョアジーが決戦をおこなう大切なときに、あなたは中国人民解放軍に、左派の広範な大衆を積極的に支持すべきであるという戦闘的な呼びかけを発しました。

これはあなたのわたしたちにたいするもっとも大きな配慮であり、もっとも大きな支持です。人民解放軍はあなたが手づくりあげ、林彪同志が直接指導しているプロレタリアートの革命的軍隊であり、プロレタリアート独裁の支柱です。わたしたちは、ほこ先を中国人民解放軍にむける階級敵の陰謀を断固として粉碎します。わたしたちは、かならず解放軍によく学び、解放軍とたく団結し、ともに戦い、プロレタリアート独裁を大いにうちかため、あらゆる階級敵の攪乱・破壊活動を断固として弾圧し、人民の首都を盤石のように堅固で、鋼鉄のよちに強固なものに築きあげます。

毛主席！毛主席！あなたはわたしたちの最高統帥者であり、あなたはわたしたちのもっともすぐれた舵手です。わたしたちは永遠にあなたにしたがって革命をおこない、永遠にあなたにしたがってはげしいあらしのなかを勇敢に前進します。あえてあなたに反対し、あなたの輝かしい思想をそしり、あなたのプロレタリア革命路線に対抗するものには、それが

だれであろうと、わたしたちはそれに造反し、それをうち倒し、永遠に立ちあがれないようにしてしまいます。

敬愛する毛主席、わたしたちはあなたにたいして、永遠にあなたの著作を読み、あなたの話を聞き、あなたの指示どおりに仕事をし、あなたのりっぱな戦士になることを誓います。わたしたちは、かならず「老三編」①や『党内のあやまった思想をただすことについて』、『自由主義に反対する』などの輝かしい著作を座右の銘として学び、魂の奥底で「私」をうち破り、「公」をうち立てる大革命をおこない、頭のなかの「私」から大いに権力を奪取します。わたしたちは、かならずあなたの教えにしたがい、戦闘しながら、整風をおこないます。わたしたちは無政府主義に大いに反対し、なわ張り主義、小集団主義、セクト主義、極端な民主化、非組織的観念を完全に克服し、プロレタリアートの革命的、科学性、組織・規律性を強化し、プロレタリアートの革命的な新秩序をうち立て、プロレタリア革命派の大連合をかため、わたしたちの隊列を非常にプロレタリア化した、非常に戦闘化した隊列に築きあげます。

① 「老三編」とは、『人民に奉仕する』、『ベチューンを記念する』、『愚公、山を移す』の三編の輝かしい著作をさす——訳注

北京は偉大な祖国の首都であり、世界の革命的人民の希望であり、灯台であります。あなたのすぐれた指導のもとで、わたしたち首都のプロレタリア革命派はこのうえなく自信を強め、闘志をもえあがらせており、かならず北京をいつまでも毛沢東思想の光に輝く、もっとも赤い、もっとも赤いプロレタリア革命の都市に築きあげ、世界における反帝・反修の社会主義の赤いとりでに築きあげます。

わたしたちの心のなかの、もっとも赤い、もっとも赤い、真紅の太陽——あなたが、いつまでもいつまでも長寿を保たれるよう、もっとも、もっとも深い心をこめておいのりします。

北京市革命委員会成立祝賀大会

一九六七年四月二十日

周恩来総理のあいさつ

(一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で)

北京市の労働者、貧農・下層中農、大学、初級・高級中学の革命的教員・学生、機関の革命的幹部の同志のみなさん、人民解放軍の指揮員・戦闘員の同志のみなさん、小勇将の紅衛兵のみなさん、同志のみなさん、戦友のみなさん

わたしたちの偉大な指導者毛主席の心からの関心と指導のもとに、三カ月にわたる積極的な準備をへて、北京市革命委員会はきょう正式に成立を宣言しました。党中央はすでに北京市革命委員会の成立を承認しました。

わたしはいま、毛主席と毛主席の親密な戦友林彪同志にかわって、また党中央委員会、國務院、党中央委員会軍事委員会を代表して、みなさんに心からのお祝いをのべるとともに、みなさんにプロレタリア文化大革命の戦闘的なあいさつをおくります。

北京は毛主席と党中央委員会の所在地であり、史上に前例のない今回のプロレタリア文化大革命の指導の中心地であります。

姚文元同志の『新編歴史劇「海瑞の免官」を評す』^①という論文が発表されると、北京のプロレタリア革命派はただちに、旧党北京市委員会のひとにぎりの反革命修正主義分子の内幕と陰謀をあばきだし、これを批判しました。こうして、全国的なプロレタリア文化大革命の序幕が勝利のうちに切っておとされました。

北京大学の聶元梓ら七人の同志が全国で最初のマルクス・レーニン主義的な大字報を書きま

① 余海瑞の免官とは、反革命修正主義分子呉晗が書いた反動的な脚本である。この脚本は、四百年前の明代の封建官吏海瑞が免官されたことをテーマにしているが、呉晗はこの脚本のなかで、歴史をねじまげ、昔のことをもちだして現在を諷刺する方法で、一九五九年に中国人民に免官された反党・反社会主義の右翼日和見主義分子のために無実の罪を訴え、かれらが勢いをもりかえすのをはげました。一九六五年十一月、姚文元同志が上海『文匯報』紙上に『新編歴史劇「海瑞の免官」を評す』という論文を発表して、プロレタリア文化大革命の進軍ラッパを吹きならした——訳注

した。毛主席がみずからこの大字報の放送を決定したあと、プロレタリア文化大革命は全国にわたってすさまじい勢いで発展していききました。

北京で、毛主席はみずから主宰した党中央委員会第十一回総会で、ブルジョア司令部を砲撃する大字報を書き、プロレタリア文化大革命の十六カ条を制定しました。総会はまた公報を発表しましたが、これによってブルジョア反動路線は、その失敗を宣告されました。

北京市の初級・高級中学は世界をゆさぶった偉大な紅衛兵運動の発祥地であります。毛主席の熱情あふれる支持のもとに、紅衛兵運動は急速に全国を巻きこみました。とくに昨年八月十八日に、毛主席の接見をうけていろいろ、紅衛兵の小勇将たちは学校から社会にとびだし、北京から全国各地にとびだし、いたるところで革命的交流をおこない、搾取階級の四旧（ふるい思想、ふるい文化、ふるい風俗、ふるい習慣——訳注）を大いにうち破り、プロレタリアートの四新（新しい思想、新しい文化、新しい風俗、新しい習慣——訳注）を大いにうち立てて、プロレタリア文化大革命のなかで不滅の功績をたてました。

昨年八月から十一月までに、毛主席は全国各地からきた千二百余万の紅衛兵小勇将や革命的教員・学生と会見しました。そして、軍民が一体となり、老いも若きも一堂に会し、われわ

れの偉大な首都は全国的かつ世界的となり、全世界の注目の的となりました。

北京のプロレタリア革命派は、林彪同志が昨年国庆节に天安門でおこなった呼びかけに積極的に対応して、二つの路線の闘争をくりひろげました。そして数ヶ月の努力をつうじて、あなたがたは毛主席のプロレタリア革命路線の側にだんことして立ち、ブルジョア反動路線のたびかさなる進攻を撃退しました。あなたがたは政治・思想の面で優位を占めたばかりでなく、組織の面でも優位を占めました。

上海の一月革命のあらしは、プロレタリア文化大革命を、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派にたいする奪権闘争という新しい段階におしすすめました。北京のプロレタリア革命派もただちに立ちあがって、下から上へと奪権闘争をくりひろげ、資本主義復活の逆流とたたかって、つぎつぎと偉大な勝利をおさめました。

まさにこうした一連の偉大な闘争と偉大な勝利を基礎にして、北京のプロレタリア革命派と小勇将の紅衛兵たちは毛主席の呼びかけにこたえて、労働者、貧農・下層中農、大学、初級・高級中学紅衛兵などの代表会議をへたのち、革命的で、代表性をもち、プロレタリアートの革命的権威をそなえた北京市の臨時権力機構を樹立しました。これは毛主席のプロレタリア革命

路線の偉大な勝利であり、毛沢東思想の偉大な勝利であります。

あなたがたは権力を奪取しましたが、二つの道、二つの路線の闘争はまだけっして終結したわけではありません。権力の奪取は容易なものではなく、権力の掌握も容易なものではなく、このプロレタリアート独裁をうち固めることはなおさら容易なものではないということをかならず知っておかなければなりません。

一九四九年、北平が解放されるとともにプロレタリアート独裁の権力が樹立されました。ところが、旧党北京市委員会のひとにぎりの反革命修正主義分子は、北京市をかそれらの独立王国にしようとたくらみました。かれらは「赤旗」をかかげて赤旗に反対し、表面では毛主席のプロレタリア革命路線のベールをまといながら、裏では資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派の反動路線を実行してきました。これらひとにぎりのものはプロレタリアートの指導部をのとり、プロレタリアート独裁を資本主義復活の道に引きずりこもうとしました。

北京市のプロレタリア革命派の同志たちはかならずこの教訓を肝に銘じ、奪権後も権力を強化し、うち固めることを十分に重視し、権力をほんとうにりっぱに掌握し、りっぱに運用しなければなりません。

この目的を果たすためには、かならず毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげて、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめなければなりません。当面は問題をもって毛主席の著作を活学活用し、資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派と北京市のひとにぎりの反革命修正主義分子をいっそう十分に、いっそう深く、いっそう全面的にあばきだし、批判するとともに、これをそれぞれの単位での闘争、批判、改革と結びつけなければなりません。同時に、この革命的大批判の運動のなかで革命的大連合と革命的「三結合」をいっそう強化し、発展させなければなりません。これは闘争の大方向であって、わたしたちはかならずこれをしっかりと把握しなければなりません。

こうしてはじめて、ブルジョア反動路線の流したすべての害毒を一掃し、毛主席に代表されるプロレタリア革命路線をすべての陣地でつらぬきとおすことができます。またこうしてはじめて、毛沢東思想で広範な人民を武装し、広範な人民の思想の革命化をうながし、わたしたちのプロレタリアート独裁を根本からうち固めることができます。

わたしたちは思いきり革命に力をいれると同時に、生産も大いにながすようにしなければなりません。そして、プロレタリア文化大革命が政治・思想の分野だけでなく、経済建設や科

学研究の分野でも異彩を放つようにしなければなりません。

ことしはわが国の第三次五カ年計画の二年目にあたります。わたしたちはことしの豊作をたたいと、工業生産のいっそうの発展をめざし、科学研究の新しい高峰によじのぼらなければなりません。この面で、北京は全国に重要な影響をおよぼすものです。

北京市のプロレタリア革命派の同志のみなさん、あなたがたはかならず思想の革命化を前提にして、大いに意気こみ、つねに高い目標をめざして、多く、早く、りっぱに、むだなく今年度の計画を完遂または超過完遂するようにとめて、第三次五カ年計画のために、強固で、発展性のある基礎をうち固め、戦争にそなえ、自然災害にそなえ、人民のためにという毛主席の提起した重要な戦略方針をいっそうりっぱにつらぬきとおさなければなりません。

毛主席は全国的な勝利をむかえる前夜に、わたしたちに「全国的な勝利をかちとること、これは万里の長征の第一歩をふみだしたことにすぎない。……中国の革命は偉大であるが、革命後の行程はもっとながく、その仕事はもっと偉大であり、もっと苦勞のいるものである。この点は、いま、党内にはっきりとっておかなければならない。そして、同志たちに、ひきつづき、謙虚で、慎しみぶかく、おごり高ぶらず、あせらない作風を保持させなければならぬ、

同志たちに、ひきつづき、刻苦奮闘の作風を保持させなければならぬ」と教えています。北京市のプロレタリア革命派の同志のみなさん、小勇将の紅衛兵のみなさん、あなたがたが毛沢東思想の偉大な赤旗をいっそう高くかかげ、毛主席の教えをよくまもり、あなたたちの勝利の果実を大切に、責任感を強め、すでに奪取した権力をたえず強化し、発展させ、毛主席がおられる首都をいつまでもプロレタリア革命派の手に掌握して、いつまでもその青春を保ち、いつまでも変色しないようにするようわたしたちは心から希望します。

最後に高らかに叫びましょう。

毛主席のプロレタリア革命路線の勝利万歳！

プロレタリア革命派万歳！

中国人民解放軍万歳！

紅衛兵万歳！

プロレタリア文化大革命万歳！

プロレタリアート独裁万歳！

中国共産党万歳！

無敵の毛沢東思想万歳！
われわれの偉大な指導者毛主席万歳！ 万歳！ 万々歳！

江青同志のあいさつ

(一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で)

労働者、農民、兵士、学生、革命的幹部の同志のみなさん、戦友のみなさん、紅衛兵の小勇将のみなさん

こんにちは！ わたしは、中国共産党中央委員会文化革命小組を代表して、北京市革命委員会の成立を心からお祝いします。また、同志たちにプロレタリア文化大革命の戦闘的なあいさつをおくります。

北京市革命委員会の成立は、北京市のプロレタリア文化大革命が新たな勝利をかちとったことをしめすものです。それは、やがて全国各地のプロレタリア文化大革命の勝利に大きな影響を及ぼすでしょう。労働者代表会議、貧農・下層中農代表会議、大学紅衛兵代表会議、初級・高級中学紅衛兵代表会議がひらかれたのち、北京市のプロレタリア革命派はさらに一步連合を

おしすすめて、革命的「三結合」を実現しました。これは毛主席に代表されるプロレタリア革命路線の偉大な勝利です。

謝富治同志のあいさつは、ひじょうにすばらしいものでしたので、わたしはただ二つの問題についてお話ししたいと思います。一つは、大批判とそれぞれの単位での闘争、批判、改革との関係の問題であり、もう一つは擁軍愛民の問題であります。

現在、全国の情勢は、全般的にいえば、ひじょうによく、すばらしいものです。このすばらしい情勢は、毛主席がわたしたちの闘争を指導された結果であり、プロレタリア革命派の大連合の結果であり、また偉大な人民解放軍の支持の結果でもあります。

しかし情勢の発展は不均衡なものであり、反復するものです。これは正常な現象です。絶対的な均衡というものは世界には存在しません。反復のないことは、きわめてまれです。反復する闘争をへて、文化大革命のなかでプロレタリアートとブルジョアジーが反復する闘争、格闘をへて、はじめてわたしたちは鍛えられるのです。反復がなければ、わたしたちはどうして鍛えられるでしょうか。反復は悪いことではありません。

プロレタリア革命派が連合して権力を奪取する現在の段階において、わたしたちは資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派にたいする大批判の運動をくりひろげなければなりません。これと同時に、各地の異なった状況にもとづいて、一步一步それぞれの単位での闘争、批判、改革にだんだんと移行していかなければなりません。この任務は、なみたいていのもではありません。

資本主義の道をあゆむひとにぎりの党内最大の実権派は資本主義復活の代表であり、北京市の反革命修正主義集団の黒幕です。ここ十七年らい、かれらは各方面にわたって、ブルジョア反動路線をうち出し、しかもそれをかたくなに固持してきました。毛主席に代表されるプロレタリア革命路線は、ほかでもなく、このブルジョア反動路線との闘争をつうじて発展してきたものです。わたしたちは、政治、経済、思想、文化の各戦線で、ブルジョア反動路線の流した害毒を完全にとりのぞいて、毛沢東思想の偉大な赤旗をそれぞれの陣地にうち立てなければなりません。

それぞれの単位での闘争、批判、改革と、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派にたいする批判活動とは、矛盾するものではなく、統一できるものです。資本主義の道をあゆむ少数の党内最大の実権派にたいする大批判によって、それぞれの単位での闘争、批判、改革は力強く

推進させられます。そして、それぞれの単位での闘争、批判、改革はまた、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派が各戦線にまきちらした毒素をいっそうあますところなく暴露し、いっそう深く批判するうえで役立ちます。それには頭をはたらかせ、よく考えなければなりません。毛主席の著作をしっかりと学び、調査活動と研究活動を十分におこなわなければなりません。

これはきわめて重要な任務です。この任務を完成するためには、どの単位も、革命的な指導機構をつくらなければなりません。もちろん、単位によっては、党の指導部や行政面の指導部が基本的にしっかりしていて、権力奪取をしなくてもよいところもあります。しかし、ほとんどの単位では、革命的大連合をおこない、革命的「三結合」をおこない、臨時権力機構をつくらなければなりません。革命的大連合、革命的「三結合」がなくて、どうやって闘争、批判、改革をおしすすめてゆくのでしょうか。だれが指導するのでしょうか。そうではないでしょうか。

同志たちはこの問題について考えたことがありますか。一部の学生は、あちこちへいって革命的交流をしたり、暴れまわったりすることに熱をあげていますが、なかなかたいした意気込みです。しかしそれぞれの単位、それぞれの部門での闘争、批判、改革をりっぱにやりとげることに、これは社会主義革命と社会主義建設の基本的な仕事です。それはまた、百年の大計でも

あります！ このように考えてみると、同志たちの責任感はいっそう強まってくるでしょう。わたしたち中央委員会文化革命小組も深くつつこんだ調査研究活動をしなければなりません。同志たちといっしょになって、同志たちからよい経験を学び、それから同志たちを援助するようにしなければなりません。

わたしたちは、この一年らい、艱難とともにし、苦楽とともにしてきた戦友です。わたしは、この闘争、批判、改革の問題について、同志たちがよく考えてくれることを希望します。わたしたちは、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派にたいする闘争を横道へそらしてはなりません。じつくりと腰をすえてかれらを論破しなければなりません。旧党北京市委員会、旧党中央委員会宣伝部、旧文化部などのひとにぎりの反革命修正主義分子にたいしても、暴露と批判をいっそう深くほりさげておこなわなければなりません。

左派にたいする支援、工業にたいする支援、農業にたいする支援、軍事管制、軍事訓練という五つの活動が、毛主席によって指示され、林彪同志によってだんこ支持されていらい、人民解放軍はこれに大きな力をつぎこんできました。幹部と戦士はきわめて大きな仕事をし、初歩的ながら輝かしい成果をおさめました。

軍隊のなかのだれにたいしても、もし意見があれば、大字報、小字報を書いて本人に送りつけることはまったくさしつかえありません。また上級さらには中央に反映してもかまいません。しかし、けっして闘争のほこ先を軍隊にむけてはなりません。

革命的大衆は軍隊にたいして正しく対処しなければならず、軍隊を擁護しなければなりません。毛主席は、「人民の軍隊がなければ、人民のすべてはない」とわたしたちに教えています。一月二十八日づけの中国共産党中央委員会軍事委員会の八カ条の命令は正しく、有効です。八カ条の命令は主として、大衆がいかに正しく人民解放軍に対処すべきかについており、軍隊を擁護することについていっているのです。

軍隊もまた正しく大衆に対処しなければならず、人民を愛さなければなりません。毛主席は、「民衆が軍隊を自分の軍隊とみなせるよう、軍隊は民衆と一体になるべきで、そうすれば、この軍隊は天下無敵となる」とわたしたちに教えています。現に、四月六日づけの中国共産党中央委員会軍事委員会の十カ条の命令も、やはり正しく、有効です。十カ条の命令は主として、人民解放軍はいかに正しく大衆に対処すべきかについており、人民を愛することについていっています。

八カ条の命令の精神と十カ条の命令の精神は一致しています。十カ条の命令を八カ条の命令と対立させることはまちがいであって、絶対にこの十カ条の命令を利用して八カ条の命令を破壊してはいけません。もしこの十カ条の命令で八カ条の命令を破壊するなら、それはまちがいです。わたしたちがこのことを提起しているのは、一つには、同志たちがあやまりを犯さないように、もう一つには、悪い人に利用されないようにという心配からです。だから、わたしたちはいま擁軍愛民のスローガンをとくに強調して提起しているのです。

毛主席はわたしたちにつきのように教えています。「われわれの前には二種類の社会的矛盾がある。すなわち、敵味方のあいだの矛盾と人民内部の矛盾である。……敵味方のあいだの矛盾と人民内部の矛盾というこの二種類の矛盾は、性質が異なっており、解決の方法も異なっている。簡単にいえば、前者は敵味方をはっきり区別する問題であり、後者は是非をはっきり区別する問題である。」

わたしたちは、敵味方の矛盾と人民内部の矛盾を区別することに長じていなければならず、二種類の矛盾を混同してはなりません。それぞれの大衆組織のあいだの論争をふくめて、人民内部の矛盾にたいしては、事実をあげて、道理をとく方法をもちい、**団結——批判——団結**の

方針によって、正しく処理すべきであって、異なった意見をもつ組織や大衆を反革命ときめつけてはならず、敵味方の矛盾を処理する方法で大衆組織のあいだの問題を処理してはなりません。武闘はなおさらいけません。

同志のみなさん、わたしたちは、北京市の広範な革命的大衆が北京市革命委員会の指導のもとに、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、革命的大批判のなかで、革命的大連合を強化し、発展させて、北京市を、毛沢東思想の活学活用の大きな学校に築きあげていくよう希望しています。

わたしたちは高らかに叫びましょう。

プロレタリア文化大革命万歳！

紅衛兵万歳！

プロレタリアート独裁万歳！

中国共産党万歳！

毛沢東思想万歳！

毛主席万歳！ 万歳！ 万々歳！

謝富治同志の演説

(一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で)

プロレタリア革命派の同志のみなさん、戦友のみなさん、紅衛兵小勇将のみなさん、みなさんが久しく待望されていた北京市革命委員会は、ここに成立を宣言します。

北京市革命委員会の成立準備活動は、初めから終わりまで、わたしたちの偉大な指導者毛主席の心からの配慮のもとにおこなわれたものです。全北京市の人民が喜びにわき立っているこの時、わたしたちはともに、わたしたちのこのうえなくもっとも敬愛する偉大な指導者毛主席がいつまでもいつまでも長寿されるよう、心から祈りましょう。

きょう、周恩来総理をはじめ中国共産党中央委員会文化革命小組の同志が全員、わたしたちの大会に出席されています。わたしたちは心から歓迎の意を表しましょう。プロレタリア文化大革命のあいさつをおくりましょう。

北京市革命委員会の成立を準備する過程で、人民解放軍は革命的「三結合」に参加して、各方面からわたしたちに力強い支援をしてくれました。ともに人民解放軍に革命的なあいさつをおくりましょう。人民解放軍に学びましょう。

上海、山西、貴州、黒竜江、山東などの省、市のプロレタリア革命派は、もつとも早く大連合を実現し、革命的「三結合」を実現して、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派の権力を奪取しました。かれらはわたしたちの学ぶべき模範です。きょう、これらの省、市の革命委員会の責任者の同志たちが、はるばる来られて、わたしたちの大会に参加し、わたしたちを支持してくれています。わたしたちはもつとも熱烈な歓迎の意と感謝の意を表しましょう。

北京市革命委員会の成立は、首都のプロレタリア革命派、首都の労働者、農民、兵士および革命的知識人が、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、プロレタリア革命路線を堅持し、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派にたいし、またブルジョア反動路線にたいし、長期にわたる勇敢な闘争をすすめた結果です。

北京はわれわれの偉大な指導者毛主席がおられる所であり、プロレタリアートの最高司令部の所在地です。はてしなく輝く毛沢東思想は全世界を照らし、全中国を照らし、偉大な祖国の

首都を照らしています。ところが、旧党北京市委員会のひとにぎりの反革命修正主義分子が長期にわたっていすわっていた旧党北京市委員会は、資本主義の道をあゆむひとにぎりの党内最大の実権派のひ護と支持のもとに、一貫して、「赤旗」をおし立てて赤旗に反対し、わたしたちのもつとも敬愛する偉大な指導者毛主席に狂気のように反対し、偉大な毛沢東思想に悪どい攻撃と中傷をくわえ、毛主席著作の活学活用に反対してきました。この反革命修正主義集団は、一貫して、階級闘争についての毛主席の学説に反対し、階級協調をおりたて、階級闘争消滅論をふりまき、都市と農村の社会主義教育運動に反対し、それを破壊し、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派をかばい、ブルジョアジーの利益を保護してきました。かれらは一貫して、プロレタリアートの政治を突出させることに反対し、工業、農業、財政・貿易、文化・教育など各分野の活動のなかで、反革命修正主義路線をおしすすめ、資本主義復活を大々的におこなってきました。かれらは一貫して、毛主席をはじめとする党中央のプロレタリア文化革命路線に反対し、かれらの支配下にある各種の宣伝道具を利用して、修正主義の毒素を大々的にまきちらし、資本主義復活のための世論準備をおこなってきました。京劇、舞踊劇、交響楽の革命のなかで、かれらはあらゆる手をつくして江青同志に難くせをつけ、攻撃を

くわえました。とくに憤激にたえないのは、かれらが呉晗批判についての毛主席の指示を一度ならずこぼみつけ、長期にわたって兵をおさえて動かさなかつたことです。姚文元同志の『新編歴史劇「海瑞の免官」を評す』が発表されたのちも、かれらは北京の新聞にそれを転載するのを許さず、その単行本を発行するのも許さず、そのうえ上海の革命的同志に攻撃をくわえました。かれらは一貫して、投降分子や裏切り者を抱えこみ、徒党を組んで私利をはかるという反革命修正主義の組織路線を実行し、腹心を要職にすえ、悪人を重用し、地主分子、富農分子、反革命分子、悪質分子、右派分子をかばい、プロレタリア革命派に打撃をくわえてきました。かれらは一貫して、毛主席をはじめとする党中央をつんばさじきにおき、北京を「針一本通らず、水一滴しみこまない」独立王国にしあげ、北京をかれらが反革命復活をおこなう基地に変えようとたくらんできました。この反革命修正主義集団は、北京の広範な人民大衆のうえにあぐらをかく大ボスであり、党と人民にたいしてこのうえなく非道な犯罪行為を犯してきました。

旧党北京市委員会の反革命修正主義集団の頭目は、幹部のあいだでいつも齒の浮くような自画自賛をおこない、党をのとり、国家をのつとるための世論をつくってきました。ところが

実は、旧党北京市委員会の主要な責任者であるこの反革命修正主義分子こそ、歴史的にいつてかけねなしの投降主義者であり、わが党内におけるブルジョアジーの代理人にほかならないのです。

抗日戦争の初期に、この反革命修正主義分子が山西・察哈爾・河北辺区でおしすすめたのは、「すべては統一戦線をつうじ、すべては統一戦線にしたがう」という王明の投降主義路線です。

解放戦争の時期に、かれは東北でひきつづきいっそう輪をかけて王明路線をおしすすめ、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派のうちだした投降主義路線をおしすすめました。かれは、農村で都市を包囲するという毛主席の偉大な戦略思想に反対し、大衆を思うぞんぶん立ちあがらせ、根拠地をうち立てるといふ林彪同志の正しい主張に反対しました。

この反革命修正主義分子は、国際活動のなかでも、中央にかくれて、階級矛盾をまっ殺し、階級闘争を解消し、ブルジョアジーを美化し、現代修正主義を美化する多くの言論をふりまきました。かれは裏切り者のチトーとフルシチョフをもちあげ、一部の国のブルジョア反動派をもちあげ、多くの投降主義の悪事を働きました。

現在明らかになったところによると、この反革命修正主義分子は、早くも抗日戦争以前に、獄中で転向、変節し、同志を売り渡しています。この裏切り者は、その後また資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派とたがいに結託し、一群の裏切り者をかばい、重用し、かれらを党、政府、軍隊の重要な指導的地位にすえました。今回の文化大革命のなかで、紅衛兵の小勇將たちがわが党内のこの大裏切り者集団を摘発したことは、きわめて偉大な功績です。

旧党北京市委員会のひとにぎりの反革命修正主義分子は、共産党員の看板をかかげ、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想のペールをまもってはいるものの、実際にはブルジョアジー、帝国主義の忠実な手先です。かれらはブルジョアジーの思想体系と資本主義の社会制度を固持し、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想および社会主義の社会制度に反対しています。かれらは共産党に反対し、人民に反対する反革命分子の一群であり、かれらとわれわれとの闘争は、食うか食われるかの闘争です。

この反革命修正主義分子の一味は、毛主席がみずからおこし、指導しているプロレタリア文化大革命を極度におそれ、腹のそこから憎んでいます。かれらは一再ならず二心派の口をもてあそび、毛主席の指示をこぼみ、一連の地下活動をおこなって、文化大革命にかたくなに反

対し、それを破壊してきました。ちょうどかれらがこれらの反党的陰謀活動をおこなっている時に、かれらの黒い手がかまえられました。首都のプロレタリア革命派は偉大な指導者毛主席の呼びかけにこたえ、怒りとうのような勢い、万雷のとどろくような力で、「三家村」①の黒い宿を一挙にたたきつぶし、一気に旧党北京市委員会反革命修正主義の巣くつに攻めこみ、かれらをさんざんにうちのめしました。毛主席と党中央は、北京大学の全国最初のマルクス・レーニン主義の大字報の発表を指示し、時をうつさず、旧党北京市委員会を改組し、新党北京市委員会を組織する決定をおこないました。この措置は全市人民と全国人民から熱烈な支持を受け、当時おこったばかりのプロレタリア文化大革命を大きく推進しました。

しかし、改組後の新党北京市委員会の主要な責任者は、毛主席に代表されるプロレタリア革命路線をおしすすめるのではなくて、反対にブルジョア反動路線をおしすすめました。一九六六年六、七月ごろ、北京市のプロレタリア文化大革命は、資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派が直接支配する状況のもとですすめられました。そして、かれらは北京をブルジョア反動路線をおしすすめるための基地に変えました。かれらは反動的なブルジョアジ

① 「三家村」とは、鄧拓、吳晗、廖沫沙らの反党・反社会主義の反革命集団をさす——訳注

の立場に立って、ブルジョア独裁を實行し、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団を保護し、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派をかばい、闘争のホコ先をプロレタリア革命派にむけました。資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派は、多くの部門でみずから指揮をとり、革命派を包圍攻撃し、革命的大衆を弾圧し、白色テロをおこない、数多くの革命的大衆を「反革命分子」、「右派分子」にしたてあげました。かれらは北京のプロレタリア文化大革命を天折の瀬戸際までおしやるとともに、ブルジョア反動路線の害毒を全国に流しました。

毛主席はこのきわめて重要な時に北京に帰り、プロレタリア文化大革命を救い出しました。党の第八期中央委員会第十一回総会は、プロレタリア文化大革命についての決定を制定し、ブルジョア反動路線の破たんを宣告し、プロレタリア文化大革命の天をも焦がす烈火をふたたび燃えあがらせました。紅衛兵や革命的大交流といった新しい事物が地平線上に現われはじめたばかりのころ、毛主席はそれに断固たる支持をあたえました。首都の紅衛兵は、ブルジョア反動路線に反対する全国各地の闘争をあおりたて、それに火をつける役割を果たしました。北京では、毛主席とその親密な戦友林彪同志は、千余万にのぼる紅衛兵や革命的教員・学生と会見

し、プロレタリア革命派にきわめて大きな励ましと力をあたえました。首都のプロレタリア革命派は、プロレタリア革命路線を堅持し、大胆に考え、大胆にものをいい、大胆に行動し、大胆に突進し、大胆に革命をおこなう精神を發揚し、ブルジョア反動路線による白色テロを粉砕し、そのたび重なる反攻を撃退し、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派をつるしあげました。ひじょうに先鋭で、ひじょうに複雑な、また曲りくねった闘争をつうじて、つきからつきへと勝利をかちとってゆきました。

上海市のプロレタリア革命派は「一月革命」のあらしを善きおこしました。首都のプロレタリア革命派は毛主席の呼びかけにこたえて、資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派から権力を奪取する闘争を下から上へとくりひろげました。比較的長い期間にわたる準備や下相談、話し合いをへて、首都大学・専門学校紅衛兵代表大会、革命的労働者・職員代表会議、貧農・下層中農代表会議、初級・高級中学紅衛兵代表大会などがそれぞれ開かれ、プロレタリア革命派の大連合の基礎のうえに、毛主席のうちだした革命的「三結合」の方針にもとづいて、北京市の臨時権力機構——北京市革命委員会が設立されました。これはプロレタリア文化大革命の偉大な勝利であり、毛主席のプロレタリア革命路線の偉大な勝利であり、無敵の毛沢東思

想の偉大な勝利です。

同志のみなさん、戦友のみなさん、北京市革命委員会の成立を心から祝っているいま、わたしたちは、毛主席の「諸君は国家の大事に関心をもち、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめなければならぬ」という教えをしっかりと胸に刻みこんでおかなければなりません。

毛主席がみずからおこし、指導しているプロレタリア文化大革命は、国際共産主義運動ではじめての偉大な壮挙です。プロレタリアートが全国を支配する権力をかちとったのちに、ブルジョアジーの反抗は必然的に十層倍も強まり、かれらはその天国の復活を夢見るものです。かなり長い期間にわたって、かれらの政治的エネルギーはまだきわめて大きく、とりわけ、思想、文化の陣地ではかなりの優位を占めています。したがって、プロレタリアートが権力を保ちつつけ、それを強化し、資本主義の復活を防ぎ、社会主義革命を最後までやりぬくことができるかどうかということは、プロレタリアートが直面している、きわめて重要な新課題です。この問題については、すべてのマルクス・レーニン主義の先駆者は解決する余裕がなかったか、または解決することができなかったのです。「平和的転化」によって資本主義がユーゴスラビアで復活し、また、ソ連やその他の一部の国ぐにでも復活しました。わが国が一九四九年

にプロレタリアート独裁の権力をうちたてたのちに、毛主席はわれわれを指導して政治、経済、思想、文化などの戦線でブルジョアジーと一連の重大な闘争をおこなってきました。たとえば、一九五四年には、党内にもぐりこんだブルジョアジーの代理人高崗、饒漱石の反党同盟との闘争がおこなわれ、一九五九年には右翼日和見主義反党集団との闘争がおこなわれました。また所有制の変革の面では、公私共営、農業協同化、人民公社化の闘争がおこなわれ、政治・思想戦線では反右派闘争がおこなわれ、さらに思想・文化戦線では①武訓伝②、「紅樓夢研究」③にたいする批判、胡適、胡風の反動的思想にたいする批判、楊献珍の「二つのもの

① ① 武訓伝とは、地主階級とその手先を熱狂的にたたえ、もっとも恥しらずな奴隷主義、

投降主義を熱狂的にもちあげ、農民の革命闘争を狂気のように中傷したきわめて醜悪な反革命的映画である。地主の手先であった武訓（一八三八年——一八九六年）が、この映画では、貧しい農民の子弟に教育の機会をあたえるために惜しみなく自分を犠牲にした「偉大な人物」としてえがかれている——訳注

② 「紅樓夢研究」とは、ブルジョア観念論、形式主義の方法をもちい、スコラの考証方法を

もちいて古典的小説「紅樓夢」を評価した書物である——訳注

が合わさって一つになる」という謬論にたいする批判などがおこなわれました。これらはみな毛主席がみずから指導した、プロレタリアートとブルジョアジーとの闘争であり、毛主席に代表されるプロレタリア革命路線と資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派に代表されるブルジョア反動路線との闘争です。今回のプロレタリア文化大革命は一大決戦であり、ブルジョアジーとすべての搾取階級の思想にたいする総攻撃です。それはなん億という大衆を革命に立ちあげさせて、党、政府と軍隊の内部にもぐりこんだブルジョアジーの代表者にたいして、下から上へとおこなう一大掃討戦であり、大掃除です。これほど規模の大きな、天地をゆるがす大衆運動をおこなうことができるのは、きわめて卓越したマルクス・レーニン主義の英知をもち、きわめてゆたかな闘争経験を身につけ、きわめて偉大な気迫をもった偉大なマルクス・レーニン主義者であるわたしたちの偉大な指導者毛主席だけです。奪権闘争は二つの階級、二つの道、二つの路線の闘争の必然的な結果です。資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派をうち倒し、かれらの権力を奪い、かれらを免官して、権力を確固たるプロレタリア革命派の手に握ってはじめて、社会主義革命を最後までやりぬき、修正主義の根をとりのぞき、資本主義の復活を防ぎ、われわれの国家が永遠に変色しないよう保証することができるとです。このよう

なプロレタリアート独裁の条件のもとでの大民主運動と、資本主義の道をあゆむ党内の実権派にたいする下から上への奪権闘争こそ、プロレタリアートがすでにかちとった勝利の成果をまもり、プロレタリア革命を前進させるものであり、それは今日必要であるばかりでなく、これからもありうることなのです。これはマルクス・レーニン主義にたいして毛主席がおこなったひじょうに大きな発展であり、マルクスが科学的な社会主義の学説をうちたて、レーニンがプロレタリアートによる一国内での権力奪取の学説をうちたてたのと同様に重要であり、同様に偉大なものです。

いま、全国のプロレタリア革命派は資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派を徹底的に批判する大衆運動の新しい高まりをもちあげています。これはプロレタリア文化大革命における一大決戦です。資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派はわが国の修正主義の大親分です。ある一部の地域、ある一部の部門における資本主義の道をあゆむ党内の実権派は、かれらが反革命修正主義路線をおしすすめるための基本的な勢力です。資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派を徹底的に批判することは、当面のもっとも重要な戦闘任務です。わたしたちはかならずこの方向をしっかりと把握して、大衆を十分に立ちあげさせ、大衆運動を大いにもりあげて、政

治の面、思想の面、理論の面から全面的な批判をくわえ、かれらがさまざまな分野に流した修正主義の害毒を徹底的に清算し、一掃しなければなりません。

資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派は、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団の黒幕です。わたしたちは資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派にたいする批判を中心に、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団と資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派を闘争によってうち倒し、闘争によってたたきつぶし、闘争によって鼻もちならぬものに、かれらにのっとられたすべての陣地を奪回しなければなりません。わたしたちはかならず毛主席の偉大なよびかけにこたえ、革命的批判の旗じるしを高くかかげ、勇敢に戦闘のなかに身を投じて、ブルジョア反動路線を完全にうち倒さなければなりません。

毛主席はわれわれにつきのように教えています。「何百万千万の民衆を組織し、潮のような革命の部隊をうごかすことは、こんにちの革命勢力が反革命勢力を攻撃するために必要なことである。」わたしたちはかならずこの偉大な革命的な大衆的批判運動のなかで、プロレタリア革命派の大連合をさらに拡大し、強固にしていかなければなりません。すべてのプロレタリア革命派は、資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派を批判し、旧党北京市委員会の反革命修

正主義集団を批判するという共同の目標のもとに、肩をならべてたたかい、毛沢東思想の水準をとともに高めていかなければなりません。林彪同志はつぎのように指摘しています。「われわれは自分を革命の力の一部とみなすと同時にまた、たえず自分を革命の対象とみなさなければならぬ。革命をやるには、自己革命をもやらなければならぬ。自己革命をやらなければ、この革命はうまくやれない。」プロレタリア革命派は客観的世界を改造すると同時に、たえず自己の主観的世界をも改造しなければなりません。わたしたちはこの革命的な大衆的批判運動のなかで、たたかいながら整風をおこない、「私」を大いにうち破り、「公」を大いにうちたて、売名主義、なわばり主義、小集団主義、自由主義、無政府主義、個人主義などの非プロレタリア思想を克服して、プロレタリアートの革命性、科学性と組織・規律性を強化しなければなりません。革命的な大衆組織のあいだの異なった意見は、開門整風（大衆の参加のもとでこたう整風のこと——訳注）の方法をもちい、主として自己批判によって解決しなければなりません。異なった意見があるからといって「内戦」をおこない、闘争の大方向をかき乱したり、はては敵がすきに乗じてわたしたちの大連合、大団結をぶちこわすようなことをさせてはなりません。わたしたちは資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派が、整風に乗じてプロ

レタリア革命派に攻撃をくわえ、プロレタリア革命派をつるしあげるようなことは絶対にゆるしません。また、保守派が大連合にかこつけて、プロレタリア革命派を弱め、プロレタリア革命派をおさえつけ、はてはプロレタリア革命派のみこんでしまうようなこともゆるしません。毛主席はわたしたちにこう教えています。「團結できるすべての人びとと團結するようにつとめなければならない。プロレタリアートは自己を解放するばかりでなく、全人類をも解放しなければならない。全人類を解放できなければ、プロレタリアート自身は最終的に解放をかちとることはできない。」わたしたちはかならず幹部や大衆の大多数と團結しなければなりません。ブルジョア反動路線にまどわされている大衆にたいしては、プロレタリア革命派はそれらの人びとを白眼視したり、排斥したりしてはなりません。資本主義の道をあゆむ党内の実権派を批判する闘争のなかで、かれらの階級的自覚が高まるよう辛抱よく啓発し、かれらがあやまちをあらためるよう熱情こめて援助し、かれらと團結してともに革命をやるようにしなければなりません。もちろん、反動的な組織、たとえば「連合行動委員会」のような組織にたいしては、プロレタリア革命派はかれらと連合することはできません。このような組織とその頭目にたいしては独裁をおこなわなければならないが、その普通のメンバーにたいしては分

化、瓦解させ、区別して対処しなければなりません。

わたしたちはこの革命的な大衆的批判運動とむすびつけて、毛主席が提起した革命的「三結合」の方針をいっそう貫きとおさなければなりません。革命的「三結合」はプロレタリア革命派の大連合を基礎としなければならず、また、革命的な大衆闘争のなかで一步一步実現していかなければなりません。どのような幹部が革命的「三結合」の対象になるかは、革命的大衆の承認によってきめるのであって、幹部がみずからきめることはできません。すべての革命的な幹部はみな積極的はこの大衆的な批判運動に身を投じ、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派を積極的に批判し、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団を徹底的に摘発し、かれらと完全に一線を画し、自分のあやまちをまじめに点検し、あらため、革命的大衆の監督と試練をうけなければなりません。プロレタリア革命派は、「大勢のものに打撃をあたえ、ひとにぎりのものを保護する」というブルジョア反動路線の構成部分を重点的に批判し、革命を願うすべての幹部が革命に立ちあがるのを支持し、闘争のなかで革命的「三結合」を実現しなければなりません。このような革命的「三結合」をおこなうなら、悪人が「三結合」にかこつけて、火事場下口棒をきめこみ、反攻・報復に出、反革命の資本主義復活をおこなうのを防ぐことができ

ます。北京市の広範な幹部のなかの大多数はよい幹部であるかまたは比較的よい幹部です。かれらのなかの多くの人、たとえば呉徳、劉建勳などの同志はすでにプロレタリア革命派の側に立ち始めています。今後の闘争のなかで、かれらが試験に耐えぬき、鍛練をうけ、ひきつづき革命のためにしかるべき貢献をするものとわたしたちは確信しています。

わたしたちはこの革命的な大衆的批判運動をつうじて、大衆をさらに立ちあがらせ、「革命に力をいれ、生産をうながす」方針をいっそうりっぱに貫きとおし、大いに意気込み、つねに高い目標をめざすことにつとめ、一九六七年度の工・農業生産計画を達成または超過達成するために奮闘しなければなりません。

わたしたちはこの革命的な大衆的批判運動をつうじて、毛主席の著作を活学活用する大衆運動をいっそうつっこんで展開してゆかなければなりません。毛沢東思想はさまざまな日和見主義、とりわけ資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派に代表されるブルジョア反動路線との闘争のなかで発展してきたものです。資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派を反面教員として十分に利用し、さまざまな面からブルジョア反動路線を徹底的に批判することによって、わたしたちは毛沢東思想をいっそう深く理解し、把握することができるのです。

同志のみなさん、戦友のみなさん

わたしたちが過去をふりかえり、未来を展望するにあたって、いっそう身にしみて感じることは、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、プロレタリアートの政治を突出させることが、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめ、あらゆる任務を完遂するための根本的な保証だということです。毛主席は現代のもっとも偉大なマルクス・レーニン主義者です。毛主席はマルクス・レーニン主義を天才的、創造的、全面的にうけつぎ、守り、発展させ、マルクス・レーニン主義をまったく新しい階級に高めました。毛沢東思想は現代のもっとも水準の高いマルクス・レーニン主義であり、プロレタリアートのもっとも強力な思想的武器であり、わたしたちの精神的原子爆弾です。わたしたちプロレタリア革命派は毛沢東思想をこのうえなく熱愛し、このうえなく信仰し、このうえなく崇拜し、それにこのうえなく忠実です。わたしたちはかならず断固として「毛主席の著作を読み、毛主席の話を聞き、毛主席の指示どおりに仕事をし、毛主席のりっぱな戦士になろう」という林彪同志の呼びかけにこたえなければなりません。わたしたちは毛沢東思想の偉大な赤旗をすべての工場、すべての人民公社、すべての商店、すべての学校、すべての機関、すべての市街区にうちたて、首都北京のすべての土地にう

ちたてなければなりません。わたしたちは人民の首都北京を、毛沢東思想の光が永遠に輝く、もっとも赤いもっとも赤い革命的な都市に築きあげなければなりません。

ともに高らかに叫びましょう。

プロレタリア文化大革命万歳！

毛主席のプロレタリア革命路線の勝利万歳！

プロレタリアート独裁万歳！

偉大な、光榮ある、正しい中国共産党万歳！

かぎりなく光り輝く無敵の毛沢東思想万歳！

わたしたちの偉大な指導者毛主席万歳！ 万歳！ 万々歳！

張春橋同志が五つの省、市革命委員会

代表団を代表しておこなったあいさつ

(一九六七年四月二十日、北京市革命委員会成立祝賀大会で)

革命的な同志のみなさん、戦友のみなさん

北京市革命委員会がきょう正式に成立しました。きょうは北京市のプロレタリア革命派にとって、また全国のプロレタリア革命派にとってもひじょうに盛大な祝日であります。わたしたち山西、貴州、黒龍江、山東および上海の五つの省、市の革命委員会代表団は、この大会にまねかれたことをひじょうにうれしく思っています。わたしたちはこの五つの省、市の革命委員会と革命的人民にかわって、北京市革命委員会と北京市の革命的戦友のみなさんにもっとも熱烈な祝意を表し、みなさんにプロレタリア文化大革命のあいさつをおくりします。

同志のみなさん、戦友のみなさん、北京市はわたしたちの偉大な指導者毛主席の住んでおら

れるところであり、わたしたちの偉大な祖国の首都であり、わたしたちのプロレタリア革命の中心地であります。偉大なプロレタリア文化大革命のなかで北京市のプロレタリア革命派は、毛主席をはじめとする党中央の直接の指導のもとで、戦闘の最前列に立ち、全国のプロレタリア文化大革命にきわだった貢献をし、きわだった功績をあげました。みなさんは恐れを知らないプロレタリアートの革命的精神をもって、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団に猛烈な攻撃をかけ、資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派を倒す闘争のなかで最初の偉大な勝利をおさめました。みなさんは全国最初のマルクス・レーニン主義の大字報を書いて革命に貢献しました。みなさんは世界を震撼させた紅衛兵運動をおこしました。みなさんは北京に革命的交流にやってきた千余万の革命的小勇将を接待しました。みなさんは、さらに何千何万という紅衛兵戦士を全国各地に派遣して、毛主席の呼びかけを全国各地にもっていき、大胆に考え、大胆にものをいい、大胆に行動し、大胆に突進し、大胆に革命をおこなう作風を全国各地にもって行って、それらの地方のプロレタリア革命派と結びつき、プロレタリア文化大革命の烈火を全国くまなく燃えあがらせました。わたしたち各省、市の文化大革命の一つひとつの勝利はみな、北京のプロレタリア革命派が全力をあげてあたえてくれた支援や首都紅衛兵

の小勇将たちが勇敢に戦ってくれたことと切りはなせません。ここで、わたしたちはもう一度同志のみなさん、戦友のみなさんに心から感謝の意を表します。

わたしたちのプロレタリア文化大革命は、いまプロレタリア革命派が連合して権力を奪取する闘争の高まりのさなかにあります。資本主義の道をあゆむ党内最大の实権派にたいする大批判は、いま全国にまきおこっています。この重要なときに、北京市革命委員会が成立したことは、全国のプロレタリア革命派にとって、きわめて大きなはげましであります。革命闘争のなかでつくられたこの革命的で、代表性をもち、プロレタリア革命の権威をもつ臨時権力機構は、かならず首都のプロレタリア革命派を指導し、ひきつづき全国の文化大革命の戦闘の最前列に立って、北京市と全国の文化大革命の完全な勝利をかちとるうえで、いっそうすぐれた貢献をし、かならずわたしたちの偉大な首都を毛沢東思想を活学活用する大きな学校にきざきあげ、それを永遠に変色させず、全国の模範、世界の手本とすることができると、わたしたちは確信しています。

戦友のみなさん、わたしたちはみな毛主席の戦士であり、同じぎんごうのなかで共同の敵と戦っているのです。わたしたち各省、市の代表団は、北京に滞在しているあいだ、りっぱな経

験をたくさん学びました。とりわけ、みなさんが革命的大連合と革命的「三結合」を実行する過程でつくり出した新しい経験、たとえば、労働者代表会議、紅衛兵代表会議、貧農・下層中農代表会議をつくった新しい経験を学びました。きょうはまた謝富治同志の報告と各方面の同志のあいさつを聞かせてもらいました。わたしたちはひきつづきみなさんに学んでゆきます。みなさんがたもきつとこれまでと同様にわたしたちを援助してくれるものと思います。わたしたちは、毛主席の指導のもとに、毛沢東思想の偉大な赤旗にみちびかれて、毛主席に代表されるプロレタリア革命路線の完全な勝利のために、プロレタリア文化大革命の完全な勝利のために、また、社会主義革命と社会主義建設の新たな勝利のために、肩をならべて勇往邁進しましょう。

プロレタリア文化大革命の勝利万歳！

プロレタリアート独裁万歳！

中国共産党万歳！

毛主席万歳！ 万々歳！

北京市革命委員会の成立に熱烈な歡呼をおくる

『人民日報』社説

史上に例のないプロレタリア文化大革命のあらしのなかで、また、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派を徹底的に批判する大衆運動の新たな高まりのなかで、われわれの偉大な指導者毛主席の心からの配慮と指導のもとに、北京革命委員会が成立を宣言した。

これは無敵の毛沢東思想の新たな凱歌である。

これは毛主席に代表されるプロレタリア革命路線の偉大な勝利であり、わが国のプロレタリア革命派が奪権闘争のなかでかちとった重要な意義をもつ偉大な勝利である。われわれはこの勝利を大切にしなければならぬ。われわれはともにこの勝利を歡呼し、この勝利を祝い、この勝利を強固にし、この勝利を発展させよう。

北京のプロレタリア革命派は、革命的な創造的精神を発揚し、比較的よくおこなわれた準備と下相談をへて、革命的労働者・職員代表会議、貧農・下層中農代表会議、大学・専門学校紅

衛兵代表大会、初級・高級中学紅衛兵代表大会などをそれぞれひらき、全市のプロレタリア革命派の大連合を実現した。強大な中国人民解放軍の支持と援助のもとに、毛主席のうち出した革命的「三結合」の方針にもとづいて、真に革命的で、代表性をもち、プロレタリアートの權威をもつ臨時権力機構——北京市革命委員会が設立された。

北京は、わが国のプロレタリア革命の最高司令部の所在地であり、解放をめざす全世界の被抑圧民族と被抑圧人民の希望であり、灯台である。偉大なプロレタリア革命の教師毛主席はここで中国の社会主義革命と社会主義建設を指導しているのである。毛沢東思想で武装した首都の革命的人民は、断固として北京をプロレタリアート独裁の社会主義の赤いとりでに築きあげ、決意をかためている。

だが、旧党北京市委員会のひとにぎりの反革命修正主義分子は、資本主義の道をあゆむ党内最大の実権派の指揮と支持をうけて、百万手をつくして北京を全国で資本主義復活をおこなうための基地に変えようとした。

もしプロレタリアートがだんことしてこれらの修正主義分子の陰謀を粉碎しなければ、毛主席が指摘しているように、「……不可避免的に全国的な規模の反革命の復活があらわれ、マルク

ス・レーニン主義の党は修正主義の党にかわり、ファシストの党にかわり、中国ぜんたいが変色してしまうだろう」。

暗雲はさんぜんと輝く毛沢東思想の陽光をさえぎることはできない。光榮ある革命的伝統をもつ北京市の広範な革命的大衆と革命的幹部は、ここ十七年らい、毛主席のプロレタリア革命路線を堅持し、社会主義の道を堅持し、この修正主義分子一味にたいしてずっとだんこととした闘争をつづけてきた。

「六月 天兵 腐れる悪を征す 万丈の長き纒もて鯢鵬を縛らんとす。」 われわれの偉大な指導者毛主席のみずからの発動と指導のもとに、あらしのようなすさまじい勢いのプロレタリア文化大革命が北京からはじまった。

北京市のプロレタリア革命派は、すべてのものを圧倒する勢いで、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団を打倒した。毛主席をはじめとする党中央は、これらの修正主義分子を免官し、免職させた。

北京は、プロレタリア文化大革命の中心地であり、発祥地である。ここでおこなわれるどの戦闘もみな全国の運動の進行に影響をあたえている。首都のプロレタリア革命派は、毛主席の

「諸君は国家の大事に関心をもち、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめなければならぬ」という教えを心のなかに深く刻みこんで、断固として毛主席の革命路線の側に立ち、全国プロレタリア文化大革命のために偉大な貢献をした。

北京のプロレタリア革命派は、全国最初のマルクス・レーニン主義の大字報を張りだして、プロレタリア文化大革命の最初の砲声をとどろかせた。北京のプロレタリア革命派は、世界を震撼させた紅衛兵運動をおこし、恐れを知らない革命的造反精神をもってあらゆる搾取階級のけがれを洗いながした。北京のプロレタリア革命派は、奮起して資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派およびかれらがうち出したブルジョア反動路線を批判し、新党北京市委員会の実行したブルジョア反動路線を批判して、ブルジョア反動路線のたびかさなる気違いじみた反攻を撃退し、革命的な大批判の新たな高まりをまきおこした。

北京市プロレタリア革命派のこれらすべての成果は、みなわれわれの偉大な指導者毛主席の心からの配慮と直接指導のもとにかちとられたものである。

「人民、ただ人民のみが世界の歴史を創造する原動力である。」北京市プロレタリア文化大革命の実践がわれわれに教えているように、あくまでも大衆を信じ、大衆にたより、思いき

り大衆を立ちあがらせ、大衆の創造的精神を尊重しさえすれば、われわれは、どのような障害をものりこえ、あらゆる敵にうちかかって、歴史を推進し、発展させることができるのである。

北京は前進しており、中国は前進しており、革命は前進している。

われわれの前には、一面にすばらしい情勢があらわれている。毛主席に代表されるプロレタリア革命路線は、すでに決定的な勝利をおさめている。しかし、階級敵はまだかたくなに抵抗しようとしている。われわれ自身の隊伍のなかにもまだあれこれの問題が存在している。闘争にはさらに曲折があらわれるであろうし、われわれの前進の道はまだ長く、任務もまだひじょうに重い。

いま、プロレタリア革命派が連合して権力を奪取する段階で、北京と全国人民の前におかれている戦闘任務は、毛沢東思想の革命的批判の旗を高くかかげて、資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派およびかれらがうち出し、固持しているブルジョア反動路線を例の大毒草『修養』とともに、政治の面、思想の面、理論の面から深く、徹底的に批判し、批判によってうち倒し、鼻もちならないものにしなければならないということである。われわれは、資本主義の道をあゆむ党内最大の少数の実権派にたいする批判を中心とし、これを各省、市、

各地区、各部門、各单位における資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派にたいする批判と結びつけ、さらに各分野のブルジョアの反動学術「権威者」にたいする批判と結びつけて、異なった状況に応じて一歩一歩それぞれの単位での闘争、批判、改革にとりかからなければならぬ。

われわれは資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派にたいする大批判のなかで、たたかひながら整風をおこない、自己の隊伍のなかのすべての非プロレタリア思想を克服しなければならぬ。当面、とくに無政府主義思想に反対し、プロレタリアートの革命性、科学性と組織・規律性をいっそう強化しなければならない。われわれはまた擁護愛民のよびかけに積極的にかたえなければならぬ。そして、闘争のなかで革命的大連合を強固にし、拡大し、革命的「三結合」を強化しなければならない。

われわれは資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派にたいする大批判のなかで、毛主席著作を活学活用する新たな高まりをもちあげ、無敵の毛沢東思想を武器として大批判をおこない、大批判のなかで毛沢東思想をいっそう深く理解し、把握しなければならない。プロレタリア文化大革命のあらしの洗練をうけて、わが国のプロレタリア権力は、いちだん

と強固になり、いちだんと強大になるであろう。

「内外の反動派をわれわれの面前で震いあがらせ、こうしてもだめだ、ああしてもだめだといわせよう。中国人民はかならずたゆまぬ努力によって着実に自己の目的を達するであろう。」

(一九六七年四月二十一日)

毛沢東思想のさんらんたる光で

偉大な首都を永遠に輝かせよう

——北京市革命委員会の誕生を熱烈に歓呼する

『解放軍報』社説

北京市革命委員会は、二つの階級、二つの道、二つの路線の大決戦の烈火のなかで誕生した。

北京市革命委員会の成立は、反革命修正主義分子の支配していた旧党北京市委員会、北京市人民委員会が完全に崩壊したことを宣告し、かれらの黒幕である資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派に重大な打撃をあたえた。

これは、無敵の、かぎりなく光り輝く毛沢東思想の偉大な勝利である。

これは、毛主席に代表されるプロレタリア革命路線の偉大な勝利である。

これは、毛主席がみずからおこし、指導しているプロレタリア文化大革命の偉大な勝利である。

る。

中国人民解放軍の全指揮員・戦闘員は心から首都の人民、首都のプロレタリア革命派の戦友たちに、もつとも熱烈な祝意を表する。

北京市革命委員会の成立は、首都のプロレタリア革命派が毛主席の心のこもった配慮とすぐれた指導のもとで、ブルジョア反動路線にたいし、また資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派にたいして、勇敢に闘争をすすめてきた結果である。

旧党北京市委員会の反革命修正主義集団は、資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派のひ護と支持のもとに、投降分子や裏切り者を抱きこみ、徒党を組んで私利をはかり、北京を「針一本とおらず水一滴しみこまない」独立王国にしたてあげ、北京をかれらが反革命の復活をおこなう基地に変えようとたくらんできた。かれらは一貫して、「赤旗」をかかげて赤旗に反対し、政治、経済、思想、文化などの各分野において徹頭徹尾の修正主義路線を実行し、われわれの偉大な指導者毛主席に悪どい攻撃をくわえ、狂気のように反党・反社会主義・反毛沢東思想をすすめてきた。また、かれらは公然と毛主席の指示をこぼみ、『海瑞の免官』にたいする批判に反発し、ブルジョア右派をかばい、プロレタリア革命派を包圍攻撃し、白色

テロをおこない、革命的大衆を弾圧し、毛主席がみずから火をつけたプロレタリア文化大革命の燃えさかる烈火を消しとめようとたくらんだ。この修正主義集団は、北京の人民と全国の人民の敵である。

北京市のプロレタリア革命派は、長期にわたって、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団にたいし、まっこうから対決する闘争をすすめてきた。とりわけプロレタリア文化大革命らしい、かれらは、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、だんことして毛主席に代表されるプロレタリア革命路線の側に立ち、大胆に考え、大胆にものをいい、大胆に革命をおこない、大胆に造反するなにもを恐れない精神を発揚して、「三家村」をぶちこわし、旧党北京市委員会の反革命修正主義集団をうち倒し、ブルジョア反動路線のたびかさなる反攻を撃退し、資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派にたいして闘争をおこない、反革命経済主義のよこしまな風をくいとめ、反革命復活の逆流を粉碎してきた。くりかえし対決し、いく重もの障害をつきやぶって、プロレタリア革命派はたえず発展し壮大になってきた。そして、毛沢東思想の基礎のうえに革命の大連合を実現し、毛主席のうちだした革命的「三結合」の方針にしたがい、革命的で、代表性をもち、プロレタリアートの権威をもつ臨時権力機構——北京市

革命委員会をうちたて、プロレタリアート独裁の命運をしつかりと自分の手中ににぎった。

毛主席はわれわれにつきのよう教えている。社会主義社会はひじょうに長い歴史的段階であり、社会主義という歴史的段階には、まだ階級、階級矛盾、階級闘争が存在しており、社会主義と資本主義という二つの道の闘争が存在しており、資本主義復活の危険性が存在している。

北京ですすめられているこの驚くべき階級闘争は、ブルジョアジーの復活の陰謀とプロレタリアートの反復活との闘争にほかならず、闘争の焦点は権力にほかならない。われわれが権力をかちとってからすでに十七年になるが、われわれのこの権力が転覆されるようなことはないだろうか、のっとられるようなことはないだろうか。北京市のきびしい階級闘争の現実が、これまで以上にわれわれに教えているように、プロレタリアートが権力をかちとったのちも、なお権力を失う可能性があり、プロレタリアート独裁がブルジョアジー独裁に変わる可能性がある。うちたおされた搾取階級は、必然的にわが党内から代理人を探しとめ、そのかすめとった部分的な権力を利用して、資本主義復活の活動を大々的におこない、国家全体を変色させ、全国の権力を奪取しようたくらむものである。資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎり

の実権派およびかれらに支持されているひとにぎりの反革命修正主義分子は、わが党内にもぐりこんだブルジョアジーの代理人であり、反革命の復活活動をおこなう個人野心家や陰謀家なのである。これらの悪人どもは、われわれが闘争をしなければ、相手がわれわれに闘争をしかけてくる、われわれが相手をうち倒さなければ、相手がわれわれをうち倒すのである。「樹静まらんと欲すれど風止まず」かれらはわれわれにむかつて風を吹きつけようとしている。われわれもまたかれらにむかつて風を吹きつけなければならぬ。そして、十二級の台風を吹きつけて、かれらをこっぴみじんにしなければならぬ。

党と国家をのつとろうとしたこれらフルシチョフ式の野心家、陰謀家に対処するには、われわれはかならず毛主席の偉大な指示にしたがって、思いきり大衆を立ちあがらせ、プロレタリアートの大民主を大いに發揮して、大いに意見をのべ、大字報を書き、大弁論をおこなって、革命の大連合を実現し、すさまじい勢いの革命の大軍を組織しなければならぬ。そして、大掃除、大掃討をおこない、暗がりにかくれている反革命修正主義分子と資本主義の道をあゆむ実権派を残らずつまみだし、かれらがかすめとった党権、政権、財権、文権を全部奪回しなければならぬ。もしわれわれが油断して、かれらの陰謀にひっかかるなら、わが国はソ連のよ

うに変色してしまうだろう。そして、革命に殉じた無数の戦士が生命を犠牲にし熱血を流してかちとった革命の成果は、みな水泡に帰してしまうだろう。

プロレタリアートは権力をかちとったのち、どのようにして権力をまもるべきか。修正主義分子が党と国家の指導部をのつとるのをどのようにして防ぐべきか。資本主義の復活をどのようにして防ぐべきか。これは国際共産主義運動における新しい中心課題である。現代におけるもっとも偉大なマルクス・レーニン主義者、われわれの天才的な、偉大な指導者毛主席だけが、このうえなく偉大な気迫、このうえなく強固な決意、このうえなく豊富な闘争経験、このうえなくすぐれた知恵をもって、史上に例のない、世界を震撼させたこのプロレタリア文化大革命をおこして、理論的、実践的に偉大な国際的意義と歴史的意義をもつこの新たな課題を解決することができるのである。これはプロレタリア革命の歴史におけるはじめての偉大な壮挙であり、毛主席のおこなったマルクス・レーニン主義にたいする画期的な新たな発展である。

プロレタリア革命派が資本主義の道をあゆむ党内のひとにぎりの実権派の手中から権力を奪回したこと、これは偉大な勝利である。しかし、もっと困難で、大きな任務がわれわれを待ちうけている。わが人民解放軍は、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、北京市の左派の広範

な大衆の側にしっかりと立って、資本主義の道をあゆむ党内最大のひとにぎりの実権派およびかれらに代表されるブルジョア反動路線を徹底的に批判し、旧党北京市委員会のひとにぎりの反革命修正主義分子の凶悪きわまる犯罪行為を徹底的に清算しなければならぬ。そして、プロレタリア革命派がしっかりと権力を掌握し、しっかりと運用し、いっそうしっかりと毛主席の著作を活学活用して、革命的大批判のなかで革命的大連合をいっそう強化、発展させ、闘争、批判、改革という偉大な任務を勝利のうちになしとげて、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめられるよう、援助し、支持しなければならぬ。

毛沢東思想のさんらんたる光でわれわれの偉大な祖国の首都を永遠に永遠に輝かせよう。

(一九六七年四月二十一日)

毛主席の革命路線の偉大な勝利

——北京市革命委員会の誕生に熱烈な歓呼をおくる

1967年初版発行

定価 40 円

出版者

外文出版社

(北京阜成門外百万莊)

発行者

中国国際書店

(北京 P. O. Box 399)

番号: (日)3050-1696

3-J-84P

00030

既刊図書案内

★毛沢東著作★

毛沢東著作選

本書は、日本の広範な読者の毛沢東著作学習の必要にこたえて、毛沢東著作選読編集委員会が中国共産党中央委員会毛沢東選集出版委員会の指導のもとに編集した『毛沢東著作選読（甲種本）』（一九六五年四月第二版）を完訳したもので、中国革命の各時期における毛沢東同志の著作の一部三十九編がおさめられている。

上製
並製
五八〇円
四四〇円

毛主席語録

赤色ビニール表紙
一五〇円

中国社会各階級の分析

三〇円

新民主主義論

六〇円

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店（北京）

延安の文学・芸術座談会における講話

四〇円

アメリカの記者アンナ・ルイズ・ストロングとの談話

三〇円

毛沢東同志は論じている——

帝國主義といっさいの反動派はハリコの虎である

四〇円

「人民に奉仕する」「ベチューンを記念する」「愚公、山を移す」

四〇円

全世界の人民は団結して、アメリカ侵略者と

そのすべての手先をうち破ろう

三〇円

——アメリカ黒人、ベトナム南部人民、パナマ人民、日本人、コンゴ
(レ) 人民、ドミニカ人民の反米正義の闘争を支持する声明と談話

敵に反対されるのは悪いことではなく、よいことである

三〇円

書物主義に反対する

三〇円

農業協同化の問題について

四〇円

★重要決定、理論論文★

国際共産主義運動の総路線についての論戦

三四〇円

目次内容

国際共産主義運動の総路線についての提案

ソ連共産党指導部とわれわれとの意見の相違の由来と発展
スターリン問題について

ユーゴスラビアは社会主義国か
新植民地主義の弁護人

戦争と平和の問題での二つの路線
根本的に対立している二つの平和共存政策

ソ連共産党指導部は現代最大の分裂主義者である
プロレタリア革命とフルシチョフ修正主義

フルシチョフのエセ共産主義とその世界史的教訓
フルシチョフはなぜ退陣したか

付録

ソ連共産党中央委員会が中国共産党中央委員会にあてた書簡

ソ連共産党中央委員会がソ連各級党組織と全共産党員にあてた公開書簡

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店 (北京)

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店 (北京)

人民戦争の勝利万歳

——中国人民の抗日戦争勝利二十周年を記念して

林彪 四〇円

目次内容

抗日戦争の時期における主要な矛盾と党の路線

統一戦線の路線と政策を正しく実行する

農民に依拠し、農村根拠地を樹立する

新しい型の人民の軍隊を建設する

人民戦争の戦略・戦術を実行する

自力更生の方針を堅持する

毛沢東同志の人民戦争にかんする理論のもつ国際的意義

人民戦争によってアメリカ帝国主義とその手先にうち勝つ

フルシチョフ修正主義者は人民戦争の裏切り者である

中国共産党中央委員会のプロレタリア文化大革命についての決定

三〇円

中国共産党第八期中央委員会第十一回総会の公報

三〇円

★美術作品選集、写真集★

ベトナム人民はかならず勝利する！アメリカ侵略者はかならず敗北する！

——ベトナム人民の抗米闘争を支援する中国美術家の美術作品選集

二〇〇円

ベトナム人民はかならず勝利する！アメリカ侵略者はかならず敗北する！

——第四集—— (写真集)

四〇円

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店 (北京)

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店 (北京)

近刊預告

★毛沢東著作★

毛沢東選集 (第一卷)

哲学論文四編

目次内容

実践論

矛盾論

人民内部の矛盾を正しく処理する問題について
人間の正しい思想はどこからくるのか

文学・芸術について

湖南省農民運動の視察報告

中国の赤色政権はなぜ存在することができるのか
大衆の生活に関心をよせ、工作方法に注意せよ

文学・芸術に関する五つの文献

出版者 北京 外文出版社

発行者 中国国際書店 (北京)

